

西上州の山岳信仰・年次経緯 (普寛行者・御嶽信仰を中心に)

Annual Report: Mountain Worship of Nishijoshu (Western Gumma)

— The center ascetic Hukan and religion of Ontake —

堀越教之*

Kyoshi Horikoshi

キーワード：西上州，山岳信仰，御嶽信仰，普寛行者，石造物

Key words : the Nishi-Joshu, Mountain worship, Mt. Ontake Worship, in Annual report of Fukan performer, stone structural objects

はじめに

下仁田ジオパークと関連した山々は、かつて山岳信仰の修行の場であった。修行の山道や尾根および山頂には、多くの石造物が設置されている。この石造物を調査し、年代を把握し、普寛行者を中心に書いたのが「西上州の山岳信仰」であった。幸いに「下仁田町自然史館研究報告」第7号(2022)「西上州の山岳信仰上」から始まり、第8号(2023)に中、第9号(2024)に下を書かせて頂いた。また、第10号(2025)には、上毛三山の山岳信仰、普寛行者と御嶽教を中心として、妙義山の金鶏山、榛名山の相馬山、赤城山の鈴ヶ岳を、さらに普寛行者の生涯と関連する埼玉県本庄市の「普寛本庄霊場」、児玉町の「普寛神社」を書かせて頂いた(第1図)。

本書では山岳信仰として建立した石造物の年号を中心にして、年次経緯を整理し、年表(第1表)を作成した。これによって各山々の信仰活動の時期が判断できる。また創作年号が記銘されていない石造物もある。大切な石造物は、年号が記銘されている近隣の石造物を参考にして記載した。



第1図

第1表の凡例

- 1) 印の山号は次のとおりである。
 - ▼ 小沢岳, ☆ 兄倉山, ★ 金剛萱, □ 四ツ又山,
 - ▽ 秋葉山, △ 時丸, ■ 日暮山, ▲ 神成山,
 - ▲ 妙義山, 金鶏山, ▷ 榛名山相馬山,
 - ▶ 赤城山鈴ヶ岳
- 2) 西上州山岳信仰の石造物で年号が彫られているものには○印を記載した。
- 3) ※印は『下仁田町自然史館研究報告』第7号, 第8号, 第9号の「西上州の山岳信仰」上, 中,

2025年12月15日受付。2026年2月19日受理。

* 〒370-2615 群馬県甘楽郡下仁田町宮室61番地 常光寺

下に記載されていない文章である。

入らない。ただし推定ができるものには、●印を付し推定年代で記載した。

4) 上, 中, 下に写真を掲載したが, 建立年号が記載されず不明な石造物がある。これらは年表に

第1表 西上州の山岳信仰・年次経緯（普寛行者・御嶽信仰を中心に）

和暦	西暦	で き こ と
享保16～	1731～	普寛行者秩父郡大滝村落合に生まれる 父木村信次郎の五男, 好八と名付ける 剣豪の父指南により, 秩父神陰流(直神陰流)を学ぶ 剣道では木村左近と号す 三峰神社で漢学を学ぶ
宝暦4～	1754～	江戸に出て浅野家の養子となり, 浅野好八を名乗る(普寛好八24歳) 三峰山別当高雲寺の日照法印が浅見家に逗留
明和元	1764	日照法印を訪ね得度。本明院普寛と名乗る(34歳) 日照法印から天台密教を学ぶ
明和2～	1765～	秩父両神山金剛院修験道場の金剛院12代修験法印 薄平梅永行者から真言密教を学ぶ 三峰神社で神道を学ぶ 役行者の足跡を慕い, 木食行を始める ▲○神成山宮崎地区に「如意輪観世音菩薩座像石仏像」を建立 女中念仏講が建立したもので, 山岳信仰とは関連が無い
明和7	1770	木曾御嶽新道開闢に向けて出発 普寛行者となる61歳, 弟子4人同行
天明2～ 寛政4	1782～ 1792	木曾御嶽王瀧口登山道を開闢 普寛行者として御嶽教を開闢
寛政4	1792	江戸日本橋に御嶽教道場を開く
寛政5	1793	木曾御嶽王龍道は一般登山道となる
寛政6～ 寛政7	1794～ 1795	この間, 関東, 越後の地方を開闢 特に武蔵国, 上野国, 越後国を巡錫
享和元	1801	本庄宿米屋弥兵衛宅において普寛行者遷化 71歳
文化3	1806	☆○兄倉山山頂直下に「八海山提頭羅神王立像石像」を建立 願主・松井田講中, 馬山講中, 南蛇井講中
文化4	1807	★○金剛萱の尾根に「普寛行者立像石像」を建立
文化6	1809	▼○小沢岳の山頂に「大日如来座像石像」を建立
天保15	1844	★○金剛萱の尾根(青倉の諏訪の森)に灯籠一対建立 願主・神戸兵左衛門
嘉永元	1848	△○西野牧・時丸の尾根に熊野皇大神建立 願主・佐藤善之口 ▲●神成山新堀村からの登山道に御嶽教の石碑建立
嘉永4	1851	▲○神成山山頂から下丹生方面下に「五大龍王」, 「八大童子・三十六童子文字碑」を建立 ▲○神成山宮崎方面「御嶽座王大権現文字碑」を建立
安政4	1857	☆○兄倉山の御嶽神社の林に「茶枳尼天(稲荷)石宮」を建立
安政5	1858	☆○兄倉山の五合目付近に「不動明王石像」を建立 願主・信州佐久郡臼田堀田屋新九郎 世話人・小海村作平, 願主・青倉講中大日向市川半六, 雨沢市川喜三郎
万延2 (文久元)	1861	☆○兄倉山の御嶽神社に「御嶽三神石宮」を3基建立 願主・信州佐久郡臼田堀田屋新九郎, 世話人・小海村作平 ★○金剛萱の諏訪の森に御嶽山神石室を建立
文久2	1862	☆○兄倉山の山頂に「摩利支天像」を建立
文久4	1864	☆○兄倉山の山頂に石宮を2基建立(元治元年御嶽信仰の石造物では無い)
元治元	1864	★●金剛萱の諏訪の森に一面八臂弁財天石造を建立 ★●金剛萱の諏訪の森に大日如来石造物を建立 ★●金剛萱の諏訪の森に普寛行者石像を建立

和暦	西暦	で き こ と
元治元	1864	<p>★○金剛萱の諏訪の森に「御嶽三神石宮」を建立 ★○金剛萱の諏訪の森に二面六臂三寶大荒神石造を建立 ☆●兄倉山の三十六童子の部分石造物の建立はこの頃 ★※金剛萱の諏訪の森に「狛犬」を建立 ☆○兄倉山の山道に「不動明王石像」を建立</p>
元治2	1865	<p>★○金剛萱の諏訪の森に「三寶大荒神石像」を建立 ★●金剛萱の諏訪の森の「飯綱大権現」「大日如来文字碑」「恵比寿天文字碑」を建立 ▽○秋葉山（馬居沢）の尾根下洞窟に「普寛行者石像」を建立 ▽○秋葉山（馬居沢）の尾根に三十六童子の一番「不思議童子」を建立施主神戸松一郎 ▽●秋葉山仏岩山山頂に「十一面観世音菩薩立像」を、おそらくこの年代に建立したと思われる</p>
慶応元	1865	<p>☆○兄倉山の山道の御嶽神社に青銅製の「御嶽山神蔵王権現」を建立（青銅のため盗難に遭う） ★○金剛萱山頂に「御嶽山蔵王大権現石像」を建立 願主・神戸兵左衛門 ★○金剛萱の山頂直下に「不動明王石像」を建立 願主・宮本講中</p>
慶応2	1866	<p>★○金剛萱の山頂に「役行者座像石像」を建立「神変大菩薩」と刻まれる 願主・神戸喜介 寛政11年（1799年）光格天皇から67年後 ★○金剛萱の山頂に「大日如来石像」2体を建立 1体の大日如来智剣印は左右反対である 願主・右 茂木冶左衛門、左 神戸兵左衛門、清水新左衛門 ▽○秋葉山に「摩利支天文字造」を建立 願主・小井土龍助 ▽●○秋葉山尾根に文字石碑建立 ● (1) 石室3体 ● (2) 水天宮丸石 ● (3) 日野大権現施主高田太右衛門 ● (4) 白川大権現施主羽田平左衛門 ○ (5) 富士浅間神施主小河原村佐藤左座衛門 ▽●秋葉山（馬居沢）の仙人窟下に三十六童子の一部 室多羅童子（八番）、召請光童子（九番） 羅多羅童子（十一番）、法卒護童子（十九番） ▽○秋葉山尾根に「御嶽三座神立像石像」を建立 ▽○ (1) 秋葉山に「八海山提頭羅神」を建立 南牧櫻村住・藤原那吉作彫之 ▽● (2) 秋葉山に「御嶽山蔵王大権現」を建立 村郷中安全 ▽● (3) 秋葉山に「三笠山刀利天宮」を建立 講中行者建之發世話藤原喜道 ▽○秋葉山（馬居沢）に三十六童子の十四番 「師子光（獅子光）童子」を建立</p>
慶応3	1867	<p>▽●秋葉山に「御嶽山蔵王大権現」を建立 ▽○秋葉山三角穴に石室3基 施主小井土六右エ門、茂左エ門、万次郎 ▽●秋葉山三角穴手前石室に自然石文字碑「虚空蔵尊」 ▽●秋葉山三角穴上岩室に石室3基 ▽○秋葉山の尾根に「八海山提頭羅神弁財天」建立 施主小井土万次郎須田幸次郎小井土弥五郎 ▽○秋葉山山頂に「大日如来」を建立 施主・小井土万次郎、須田幸次郎、小井土弥五郎</p>
慶応4	1868	<p>▽●秋葉山に「三笠山刀利天宮」を建立 發世話・藤原喜道 ▼○小沢岳の尾根に「大日尊文字石碑」を建立 小沢邑講中一同・世話人関長左衛門 ▼○小沢岳に「俱利伽羅龍王石像」を建立 ▼○小沢岳に「龍神不動明王龍神彫刻石碑」を建立 ▽●秋葉山と並ぶ仏岩山の山頂に「石文字碑・胎藏界傳三部」を建立 ☆○兄倉山の御嶽神社に「御嶽三座神石像」「八海山提頭羅神王」「三笠山頭利天」を建立 ▼○小沢岳の尾根に「俱利伽羅龍王」を建立 ▼○小沢岳の尾根に「指徳童子石碑」を建立</p>

堀越教之

和暦	西暦	で き こ と
明治2	1869	<p>□○四ツ又山の第三峰山頂に石室を建立 願主・塩沢村市川与左衛門</p> <p>この頃から廃仏稀釈の思想が始まり、名前が変更された 御嶽山座王大権現 国常立尊（くにひとこたちのみこと） 八海山提頭羅神王 大己貴命（おおなむちのみこと） 三笠山刀利天 少彦名命（すくなひこなのみこと） しかし西上州の山岳信仰では変更されていない</p>
明治3	1870	<p>□○四ツ又山の第二峰脇尾根に「烏天狗立像石像」建立 願主・茂木善十郎，茂木伊左衛門</p> <p>▼○小沢岳の尾根に「普寛行者石像」を建立</p> <p>□○四ツ又山の第一峰山頂に「八海山提頭羅神王石像」を宮本講が建立 □○四ツ又山第二峰山頂に「御嶽山神蔵王大権現石像」を宮本講が建立 □○四ツ又山の第三峰山頂に「三笠山刀利天宮石像」を宮本講が建立 □○四ツ又山第二峰脇尾根に「不動明王石像」を建立 □○四又山の第二峰脇尾根に「弁財天梵字種字碑」を建立 願主・工藤清市左衛門</p> <p>▼○小沢岳の尾根に「普寛行者石像」を2体建立 願主・宮本講中 ▼○小沢岳の尾根に「役行者石像」を建立 必願・関長右衛門，今井七郎</p>
明治4	1871	<p>□○四ツ又山の第四峰山頂に「富士浅間神石室」を建立 南（富士山）を向く 願主・信州佐久郡臼田 堀田屋新九郎 世話人・小海村作平</p> <p>▼○小沢岳の尾根に「役行者石像」を建立 ▼○小沢岳の尾根に「俱利伽羅龍王」を建立 ▼○小沢岳の尾根に「大日尊文字碑」を建立 □○四ツ又山の登山道第一峰直下に「不動明王石像」を建立 願主・茂木源七</p>
明治5	1872	<p>□○四ツ又山の登山道，大久保と下郷の分岐より高屋山の尾根山道に「普寛行者座像石像」を建立 願主・大久保，工藤重工衛他 青銅錫杖を持っていたが大東亜戦争に提供した</p>
明治6	1873	<p>▼○小沢岳の尾根に「八海山提頭羅神王石像」を建立 「御嶽山蔵王大権現石像」を建立，「三笠山刀利天宮石像」を建立 願主・宮本講中</p> <p>▷○榛名山相馬山に不動明王石像を建立</p>
明治7	1874	<p>▼○小沢岳の尾根に「波羅波羅童子」，「不思議童子」， 「智恵幡童子」等の文字石版碑を建立</p> <p>▼○小沢岳の尾根に「普寛行者石像」を建立 ▼○小沢岳の尾根に「矜羯羅童子」，「烏婆計童子」の石版石碑を建立</p>
明治9	1876	<p>▼○小沢岳の尾根に「十二大権現石像」を建立 願主・宮本講中</p> <p>○明治時代の神佛分離運動により，御嶽教教派神道として孤立開教。 W・ウエストン日本巡礼登山</p> <p>△○西野牧・時丸の尾根に「石灯笼」1対を建立 △●時丸御岳山開山の祖・柳澤利廣行者座像尊像建立 △●時丸御岳山上部に「一心行者立像石造」を建立</p>
明治14	1881	▷○榛名山黒髪山に表口碑建立
明治15	1882	<p>△○西野牧・時丸の尾根に「絹笠大明神立像」を建立 矢川生まれ佐藤紋寄進</p> <p>▷○榛名山相馬山に「薬師瑠璃光如来座像石像仏」建立</p> <p>▶●赤城山鈴ヶ岳山頂に「御嶽山岳信仰文字碑」建立 中央鈴嶽山神社，右赤城山大神，左愛宕山大神</p> <p>▶●赤城山鈴ヶ岳山頂付近の御嶽信仰文字碑一体に建立 中央御嶽山座王大権現，右三笠山大神，左八海山大神</p>
明治18	1885	<p>▷○榛名山相馬山に「御嶽山座王大権現」を建立 ▷●榛名山相馬山に「八海山提頭羅神」を建立 ▷●榛名山相馬山に「三笠山刀利大神」を建立</p>
明治19	1886	<p>▲○神成山から宮崎方面に下る尾根に「不動明王座像石像」，「矜羯羅童子立像石像」， 「制多伽童子立像石像」を建立 願主・今井両吉他11人</p> <p>▲○神成山から宮崎方面に下る尾根に三十六童子の第三「不動恵童子」（現在破損）を建立</p>

西上州の山岳信仰・年次経緯（普寛行者・御嶽信仰を中心に）

和暦	西暦	できごと
明治20	1887	<ul style="list-style-type: none"> ▲○妙義山金鷄山「御嶽座王大権現」（頭部欠落石造物） 當所願主清水平八 ▲●妙義山金鷄山「御嶽座王大s権現」 ▲●妙義山金鷄山「山之神」（文字碑） ▲●妙義山金鷄山「御嶽山神」（文字碑） ▲●妙義山金鷄山「茶枳尼天」（線画・「茶枳尼天」文字） ▲●神成山から宮崎方面に下る尾根山頂に「意和羅天・大頭羅神天文字碑」「天之御中主尊天文字碑」2体を建立 ▲●神成山から宮崎方面に下る山道に 「普寛靈神文字碑」「青面金剛立像石造」,「馬頭観音立像石造」 「地藏菩薩立像石造（頭部無し）」等を建立
明治23	1890	埼玉県児玉郡児玉町（現代：本庄市児玉町）に普寛信仰「児玉講」が開始される
明治21～27	1888～1894	W・ウエストン木曾御嶽山に登山
明治30	1897	<ul style="list-style-type: none"> ▲○神成山の打越に「御嶽山神石碑」を建立 ☆○兄倉山の山麓、吉崎御嶽神社に鋳型造り「御嶽山神蔵王大権現」を建立するが、盗難に遭い、「御嶽蔵王大権現石造」を建立
明治31	1898	<ul style="list-style-type: none"> ■○日暮山の尾根に「中央大日大聖明王石碑」を建立 願主・武藤正一郎一月十七日※ ☆○兄倉山の山道に「不動明王石碑」を建立 ■○日暮山の山頂に「御嶽神社石宮」を建立 願主・柳沢藤太郎一月十七日※ ■●日暮山の「日野大神石碑」建立 ■●日暮山の「摩利支天石碑」建立 願主・武藤庄三郎※ ■●日暮山の山頂に「石室」建立（建立年不詳） 発起人・武藤条太郎、小井土染五郎、柳澤藤太郎、土屋吉太郎、佐藤弥吉、その他有志一同
明治34	1901	<ul style="list-style-type: none"> ▼○小沢岳の尾根に「十二大権現石像」を建立 願主・宮本講中 □○四ツ又山の登山道、大久保道および下郷道の分岐に、「大天狗石碑」および「小天狗立像石像」を建立 願主・千原村峯崎武
明治35	1902	<ul style="list-style-type: none"> □○四ツ又山の山麓、南牧村野々上の山道に「大天狗文字碑」「小天狗文字碑」を建立 願主・山中村小棚熊吉 △○時丸の尾根に「不動明王立像」を建立
明治40	1907	<ul style="list-style-type: none"> △○時丸「御嶽教・繁孝霊神原茂三郎」の慰霊から始まり22体文字碑霊位建立 ▷○榛名山相馬山に不動明王三尊を建立 不動明王は石像、童子は文字碑
大正10	1921	▷○榛名山相馬山に馬頭尊を建立
大正12	1923	☆○兄倉山の山麓、吉崎御嶽神社に「金貳百円」を寄進 文字碑建立 寄進者・下仁田町桜井よし
昭和6	1931	埼玉県児玉郡児玉町（現代：本庄市児玉町）に児玉神社「御嶽山至誠教」が開始される
昭和20	1945	大東亜戦争敗戦後、宗教団体に替わり、宗教法人令が公布、施行。
昭和27	1952	宗教法人法が施行される
昭和28	1953	宗教法人法に基づき「宗教法人御嶽教」と名乗る 本庄普寛講社は「御嶽教直轄普寛大教会開闢普寛霊場」となる
昭和57	1982	埼玉県本庄市児玉町に普寛神社「御嶽山至誠教」の神社が建立される ▷○榛名山相馬山に物見塚十二神守護神を建立
平成14	2002	△○時丸「御嶽教森森霊神関口菊雄」享年82歳で逝去する 下仁田町では御嶽教最後の行者
平成23	2011	下仁田町では御嶽教最後の行者 大桑原岩崎鶴雄氏が享年88歳で遷化する 「御嶽教中教正浄嶽院自然鶴諦居士」
平成26	2014	△ 時丸御嶽山「御嶽神社」2月15日の大豪雪により倒壊し再度建立する信者はいない
令和元	2019	<ul style="list-style-type: none"> □ 四ツ又山10月12日～13日台風大豪風雨による落石により、下仁田町下郷地区から四ツ又山への山道は中止となる ▲ 妙義山金鷄山の入口近く、10月12日～13日台風大豪風雨の土砂崩れにより「普寛御嶽行者座像石造物」が崩落した

まとめ

ここに記載した年表は、西上州の山岳信仰の上・中・下を中心にまとめたものである。石造物に記載された年号を山岳ごとに整理すると、次のことが記載できる。

- 1 ▼小沢岳山頂に建立されている「大日如来石像座像」は文化6年（1809）の建立で、西上州では3位に古い。小沢岳その他の石造物は、慶応4年・明治元年（1868）から明治6年（1873）の建立である。第1図。
- 2 ☆兄倉山の「八海山提頭羅神王石像」は、文化3年（1806）の建立で西上州では最も古い石造物である。兄倉山その他の石造物は安政4年（1857）から文久元年（1861）までの建立である。
- 3 ★金剛萱の「普寛行者石像」は文化4年（1807）であり、西上州では2位に古い。その他の石造物は、文久2年（1862）から慶応2年（1866）までの石造物である。
- 4 □四ツ又山の御嶽教石造物は、明治2年（1869）から明治5年（1872）まで建立したものである。西上州の山岳信仰の中で、四ツ又山のみに存在するのは「烏天狗」であり、明治34年

（1901）の建立である。

- 5 ▽秋葉山あきやさんの御嶽教石造物は慶応2年（1866）と慶応4年（1868）に建立されたものである。
- 6 △時丸御嶽神社の御嶽教石造物で最も古いのは、熊野皇大神で嘉永元年（1848）である。下仁田町に3体しかない「絹笠大明神」で建立年代、明治15年（1882）が彫られている。
- 7 ■日暮山にっくらやまでは4体の石造物があるが、1体のみ建立年月日が刻まれている。「中央大日大聖不動明王石碑」であり、明治31年（1898）である。
- 8 ▲神成山の宮崎地区に如意輪観世音菩薩石仏像が建立されている。普寛行者が34歳の時期であるので、御嶽教とは関連ない。嘉永元年（1848）か。

引用文献

- 堀越教之（2022）西上州の山岳信仰 上。下仁田町自然史館研究報告。7, 11-20.
- 堀越教之（2023）西上州の山岳信仰 中。下仁田町自然史館研究報告。8, 1-12.
- 堀越教之（2024）西上州の山岳信仰 下。下仁田町自然史館研究報告。9, 1-10.
- 堀越教之（2024）上毛三山の山岳信仰（普寛行者と御嶽教を中心に）。下仁田町自然史館研究報告。10, 1-6.

（要 旨）

堀越教之（2026）西上州の山岳信仰・年次経緯（普寛行者・御嶽信仰を中心に）。下仁田町自然史館研究報告, 11, 9-14.

堀越（2022, 2023, 2024）では、普寛行者を中心にした西上州の石造物の記載を報告した。さらに堀越（2025）では、群馬地方の上毛三山にも普寛行者が関連している事を述べた。しかしこれらの山岳信仰はそれぞれの山岳により調査して記録したものであり年表には欠けていた。そこで信仰行動の年を記載検討し、年表を作成したものである。